

【別紙様式】

島根県大田市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。

事業名	病院事業会計負担金		
総事業費 (千円)	25,106千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	25,106千円
事業概要	<p>①目的 市内唯一の感染症指定医療機関であり、地域医療の中核を担う大田市立病院に対し、感染症対策及び感染症による経営影響への支援を行うことで、コロナ禍における地域医療体制の維持を図る。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染症対策経費への支援 クレジット決済対応精算機導入経費 4,994千円×2台 その他感染症対策経費 118千円</li> <li>・医療体制維持のための経営支援（定額支援金） 人間ドック検査内容見直しへの支援金 1,500千円 外出自粛や受診控えによる患者数減少等による 経営影響への支援金 13,500千円</li> </ul> <p>③交付対象</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 交付対象者 大田市立病院</li> <li>2) 交付対象者の選定理由・選定方法 市内唯一の感染症指定医療機関であり、新型コロナウイルス感染症対応においても地域医療の中核を担っている。当病院でのクラスターの発生や病院経営の悪化は、市内の感染症医療のひっ迫等を引き起こし、市民生活に直接的な影響を与えるため、支援金を交付する。</li> </ol> <p>④期待される効果 地域医療体制の維持が図られることで、コロナ禍における市民の安全・安心の暮らしを守ることに繋がる。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛や受診控え等による患者数の減少及び感染リスク回避を目的とした検査項目の見直しにより収入が減少する一方で、感染症対策に係る経費の支出増加が生じ、病院経営に大きな影響を及ぼしている。</p> <p>感染拡大により、大田市立病院の地域における役割の重要性が増す中、大田市立病院を交付対象者として支援金を交付し、新型コロナウイルス感染症対策及び病院経営の継続を支援する本事業は、地域の医療体制の維持と市民の安全・安心な暮らしを守る地方創生に資する事業に該当するものであり、交付金を活用することが妥当である。</p>		